

## Cドライブの領域を増やす方法

(Dドライブの空き領域の活用 = パーティションのサイズ変更)

使用するソフト: 『EASEUS Partition Master Home Edition V6. 5. 2』

(以下、EPM6 という)

「窓の社 (ダウンロード元)」のコメント概要

- ・ XP・VISTA・7 のいずれでも使用可能。
- ・ Windows上からGUIで自在にパーティションを編集できるソフト。
- ・ ドライブ内のデータを破壊することなくパーティションの作成・削除・サイズ変更などが可能。
- ・ なお、OSがインストールされたパーティションを編集した場合のみ、編集を反映させる際にOSの再起動が必要。

<フリーソフトの入手>

入手先: 「窓の社 ソフトライブラリ」 <http://www.forest.impress.co.jp/lib/home/>

↓  
「システム・ファイル」→「フォーマット・デフラグ」→「EPM6」(ダウンロード)

### パーティションのサイズ変更手順

(「Dドライブ」の空き領域の一部を「Cドライブ」へ割り付ける。)

<手順の概要>

1. ソフト(EPM6)を起動。DドライブからCドライブへ割り付けるサイズを決める。
2. Dドライブの空き領域の開放。(Cドライブへの割り付けサイズを切り分ける。)
3. Dドライブから確保したサイズ(前記2.)を、Cドライブへ割り付ける。
4. 「Apply」(実行・再起動)。(注) 元戻し(取り消し)は、「Undo」。

### [ 詳細手順 ]

1. ソフト(EPM6)を起動する。→ 画面 (1) → 「C」・「D」ドライブの現状が表示される。

最初の画面

「D」から「C」へ割り付ける領域(サイズ)を検討する。

画面 (1)

Partition	Type	Size (合計サイズ)	Used (使用領域)	Unused	Status	Pri/Log
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			
C:	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
D:	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			

作業目標: この領域(サイズ)をCドライブへ割り付ける。

## 2. Dドライブの空き領域の開放。

(Dドライブの空き領域から、Cドライブへの割り付けサイズを「Unallocated」へ切り分ける。)

(注)「Unallocated」の領域は、グラフィックでは「グレー色の塗りつぶし」で自動作成される。

### ① Dドライブを選択する。(PartitionのDドライブ欄をクリックする。)・・・画面(2)

→ Dドライブ欄が青色に塗りつぶされる。

→ グラフィックのDドライブ領域の外枠が黒色に変わる。

(グラフィックの画面で、Dドライブのサイズ変更操作が可能となった。)

画面(2)

Partition	Type	Size (合計サイズ)	Used (使用領域)	Unused	Status	Pri/Log
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			
C:	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
D:	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			

### ② グラフィックのDドライブエリアにおいて、次のマウス操作を行ない、

「Cドライブへの割り付けサイズ」を「Unallocated」(パソコンで自動作成される領域の名称)へ切り分ける。

・・・画面(3) → 画面(4)

#### [解説]

グラフィックの、「CまたはD 各ドライブエリア」の「左端」または「右端」の黒い部分にカーソルを載せると、カーソルが十字(+)になる。

この十字を左または右へドラックすることで領域(サイズ)の変更ができる。

画面(3)

② D エリアの右端を掴んで左方向へドラック

画面(3)のマウス操作の結果、Dドライブからの切り分けが完了。

画面(4)

Dドライブから切り分けた領域(Cドライブへの割り付け用サイズ)

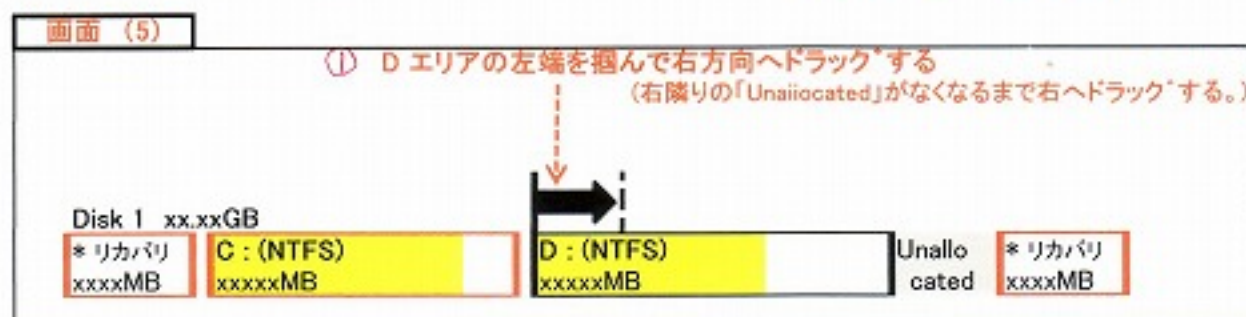
(注) グラフィックの各領域の大きさをマウス操作で変えたとき、下部に表示されているPartitionごとのSize欄の数値(GB)は、グラフィックのサイズに連動して自動修正される。

3. Dドライブから切り分けて確保した領域(サイズ)を、Cドライブへ割り付ける。

① Cドライブへの割り付け準備。

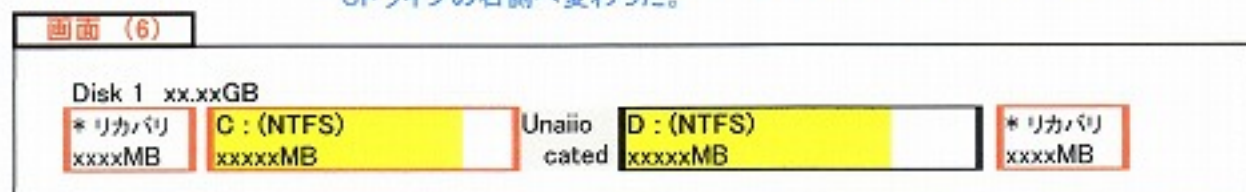
(Dドライブ右隣りにある割り付け用サイズを、Cドライブ右隣りに動かす。)

....画面(5) → 画面(6)



画面(5)のマウス操作の結果、割り付け用サイズの配置移動が完了。

Dドライブ領域が右へ動いた結果、切り分けた領域(Unallocated)の位置が、Cドライブの右側へ変わった。



② Cドライブを選択する。(PartitionのCドライブ欄をクリックする。) ....画面(7)

→ Cドライブ欄が青色に塗りつぶされる。

→ グラフィックのCドライブ領域の外枠が黒色に変わる。

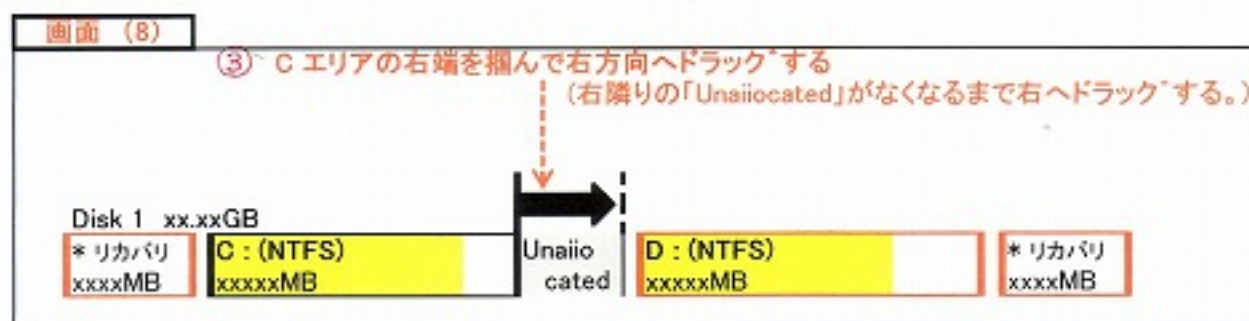
(グラフィックの画面で、Cドライブのサイズ変更操作が可能となった。)

画面(7)

Partition	Type	Size (合計サイズ)	Used (使用領域)	Unused	Status	Pri/Log
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			
C :	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
*	Unallocated	xxGB	xxGB			
D :	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			

③ CDドライブへ割り付け。(CDドライブ右隣りにある割り付け用サイズをCDドライブへ割り付ける。)

.....画面(8) → 画面(9)



画面(8)のマウス操作の結果、CDドライブへの割り付け(領域増加)が完了。

画面(9)

Disk 1 xx.xxGB

\* リカバリ xxxxxMB

C : (NTFS) xxxxxMB

D : (NTFS) xxxxxMB

\* リカバリ xxxxxMB

Partition	Type	Size (合計サイズ)	Used (使用領域)	Unused	Status	Pri/Log
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			
C :	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
D :	NTFS	xx.xxGB	xx.xxGB			
* リカバリ領域	NTFS	x.xxGB	x.xxGB			

#### 4. 「Apply」(実行・再起動)。

ソフト(EPM6)の画面の左側下部にある「Apply」ボタンをクリックする。

(注) 中止・取りやめるときは、「Undo」ボタンの方をクリックすること。

CDドライブ・Dドライブの領域変更が実行される。(実行完了まで一定の時間を要する。)

(参考) 「Apply」をクリック後、実行完了までのパソコンの作動時間(終了待ち時間)は、パソコンの保存データ量との関係がある模様で、私のデスクトップパソコン(HDD:320GB)の場合は、約45分かかりました。